

【地域版】公共施設タウンミーティング 会議録

日時	平成 30 年 7 月 28 日 9 時 30 分～11 時 30 分
開催場所	さんだ市民センター 1 階大集会場
対象地域	三田、三輪南部
参加者	6 人
市出席者	森市長、椋田技監、赤松理事、東野経営管理部長、江田危機管理担当次長、西田行政管理室長、山添市民協働室長、川田市民文化室長、奥こども室長、久高都市政策室長、古川地域整備室長、外岡学校教育部長
事務局出席者	西垣戸財務室長 公共施設マネジメント推進課：甲斐課長、木戸課長補佐、松木主任、迫田主任 協働推進課：寛長地域担当課長（三田担当）、今西地域担当課長（三輪南部担当）
議題	(1) 三田市の公共施設の現状・基本方針(案)の説明 ・「三田市の公共施設をとりまく現状」の説明 [木戸課長補佐] ・「三田市公共施設マネジメント推進に向けた基本方針(案)」の説明 [椋田技監] (2) 意見交換 [意見交換シートを活用]

会議の概要

司会	<p>1. 開会</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>3. 現状・基本方針(案)の説明</p> <p>4. 意見交換</p> <p>事務局から人口減少等が見込まれることから、公共施設のボリュームを小さくすることが必要であることが報告されました。皆さまの中でボリュームを小さくする、機能を集約することについてご意見がありましたら、お伺いしたいと思います。</p>
参加者	<p>昭和 50 年代からのニュータウン計画が始まった時点で、学校・公共施設・上下水道等にお金がかかるとわかっていて、行政がどのように考えていたのか、当時の市長がどのような考えで基金の貯えをしておられたかお聞きします。</p>
市	<p>当時の市長がどのように考えていたかは分かりませんが、昭和の時代というのは、全国の自治体のほとんどが建物を建てるお金は想定していたとしても、建てた後の維持管理費については発想がなかったのではないかと思います。このことは反省すべきことだと思います。一方、維持管理費が非常に掛かるということが言われ出したのは、ここ 10 年です。</p> <p>ニュータウン基金については、50 年 100 年ずっと続くというのではなく、開発によっていきなり膨らんだ身の丈に合っていない公共施設を管理する為というのが、そもそもの基金の発想でした。今は人口も定着し、成熟のまちになっていますので、基金に頼らない財政運営をする必要がありますし、現実には基金は底をついているということです。</p> <p>これからは、今回お示ししました公共施設の床面積の削減もそうですし、道路や公</p>

園の維持管理の手法につきましても、全て市がやるのではなく、市民の皆さまと協働のもと管理していくという新たな手法が必要であると考えております。

司会

他にご意見ある方はおられませんでしょうか。

参加者

ふれあいプールのことについて、よろしいでしょうか。

去年まで幼稚園で PTA 役員をしていた関係で、いろいろなお母さん方から意見を聞いています。ふれあいプールですが、昨年度に廃止の話が出ていたので、無くなったら困るよね、寂しいよね、どこ行こうとか話が出ていました。ところが今年度はふれあいプールが開催されており、沢山のお母さん方が喜んでおられました。これからは継続していくのかと希望を持たれていますが、廃止されるのでしょうか。

また、小学校の夏休みのプール開放の取りまとめ役にあたっておりますが、小学校のプールの監視にあたる方は、保護者のボランティアで回している状態です。心肺蘇生法は講習を受けていますが、専門の監視員ではありませんので不安があります。監視への不安から、学校のプール開放が無くなるのではないかという危惧もあります。

ふれあいプールが廃止になる、学校でのプール開放が難しくなる現状で、三田の子ども達は水泳を楽しむ機会が少なくなるのではないかと考えています。楽しむだけではなく、泳げることが水の中での事故を防ぐことにも繋がっていくので、できれば継続していただく、また継続が難しいのであれば、学校でのプール開放で監視員を使うにあたって、市から支援をしていただけないでしょうか。

市

ふれあいプールにつきましては、廃止ということではなく、大規模な損傷が生じない限り、存続が基本になります。実際、ろ過機の修理等は前年度以前もしております。ただ、コンクリート層であるプール本体がダメになったら、抜本的な修理をしないとイケませんので、そこまでは修繕できません。小まめな補修をしながら、末永く使っていただきたいと考えています。

市

夏休みのプール開放の監視員につきましては、全 20 校ある中で、市費での対応は人材の確保も含めて難しい状況です。プール開放で学校の施設を使っただけのは非常に良いと思いますので、今後も引き続きボランティアなどできる限り保護者の協力をいただきたいと考えています。

参加者

プール本体のコンクリートが将来的にダメになったらと言われましたが、何年後とかの大体の目途はお分かりですか。

市

コンクリート構造物というのは、一般的に 50 年や 70 年とかいうふうに言われていますが、実際は作り方によって変わってきます。そのため、ふれあいプールが何年もつかかわりませんが、今大きな損傷は認められませんので、10 年以内に大きな支障が出るとは考えにくいです。

参加者

区長をしています。思っていたより出席者が少なく、関心がないのかと残念に思っています。ただ、周辺には大きな不満を持っている自治会長さんもいらっしゃいました。けれどお金がないと言われたら仕方がないのかと、あきらめムードが蔓延しています。

青少年育成センターは、周辺の自治会が自治会活動の場として活用しております

が、それが無くなるというのは困る話です。それなら市民センターをとということでは、遠くなりますし、自治会活動をするにしてもお金がかかってしまう場合があるので、困っております。なんとかして欲しいという思いはありますが、お金がないと言われたら仕方がないです。

参加者

青少年育成センターを処分されるということは、立地条件が良いからですか。

市

建物は築 65 年です。かなり老朽化しており、早急に解体していくべきだと考えております。機能につきましては、フラワータウンにあります多世代交流館に統廃合しながら、効率的に運営を進めていくように考えております。廃止後につきましては、できるだけ効率的に有効的に使っていくため、現状では売却と考えております。

司会

三田・三輪南部地域の施設について、他にもご意見がありますでしょうか。

参加者

さんだ市民センターですが、地域の拠点として幼稚園や小学校の PTA 活動で使うことが多いです。他地区の市民センターに比べると築年数が経っているということで、老朽化というのが気になります。特に調理室を使うことが多いのですが、衛生面の問題や、設備が古すぎたり使いづらいということがあります。扉続きのダイニングルームがあるという特色から、あえてさんだ市民センターの調理室を選んで使っている方もいます。これからも使い続けていくためにも、これらの設備は改修予定があるのでしょうか。

また 2 階に和室がありますが、先日も他市では豪雨での避難場所が小学校の体育館になっていますが、お年寄りの方は体育館で寝るのは痛いので和室のある施設に行っておられる方が多いというニュースがありました。ここの和室が部屋のスペースの割に少し狭く感じます。部屋全面が畳スペースではなく、端が三角の板間になっていて使いようがないです。反対側の飾り棚には柱がありますが、小さな子どもだと柱と柱のすき間に入れます。老朽化していて、その柱をいつか誰かが折ってしまうのではないかと危惧しています。安全面で不安があるのと、全面を畳にする方法も、スペースの有効活用という意味では良いのかと思います。

市

これまで三田市では、財政的なこともあり、場当たりに補修をしていました。予防保全をしていけば、それほど修繕費もかけずに済むはずが、できていないのが現状でした。今後は、必要な施設や残す施設については、きちんと手当をし、使い易いように改修をする。その為にも、今持っている公共施設を同じ形で持ち続けるのが無理なので、ある程度ニーズが低い施設は廃止させてもらいたいというのが、今回の公共施設マネジメントの趣旨です。

例えば総合福祉保健センターは福祉避難所に位置づけられており、体の不自由な方が避難する際の拠点になっています。このことから、今年度、先行的な改修に着手することになりました。そのほかについては、順にやっていく必要があります。

市

さんだ市民センターの大規模な改修ですが、現時点において予定はありません。ただ、安全面等については、明らかな危険があれば素早い対応が必要ですので、現場の状況を見ながら判断させていただきます。限られている財源の中で一斉に改修は出来ないの、優先順位を考える中で対応していきたいと思っております。

司会者	他に地域外の施設でご意見ありませんか。
参加者	桑原、大畑、東山の各住宅の入居状況はどうなっていますか。西区の市営住宅もかなり空き家がでているみたいですが、統廃合はすぐに考えるということではないのでしょうか。
市	現在、桑原住宅は5戸、大畑住宅2戸、東山住宅が8戸入居されています。西山の市営住宅は、空きが出れば募集をかけますので、ほぼ入居が埋まっている状況です。
司会者	他にご意見がないようですので、最後に市長から話をさせていただきます。
市長	<p>ご意見ありがとうございます。補足と総括的な話をさせていただきます。</p> <p>まず、今までの行政の考え方ですが、大きくみますと、行政というのは継続性を持たないといけないということがあります。私が市長に就任する前から全国的に人口減少は言われていました。しかし私も公務員だった頃、人口減少や少子化がこんなにも早く現実化するという事について、ほとんどの行政、政治家は積極的に発言しなかったのが実態ではないかと思えます。だから今、日本全体が人口減少と少子高齢化の危機に苦悩しているということがあります。</p> <p>これから東京もあと20年すれば間違いなく人口が減少します。今まで日本がやってきたことについて、抜本的に発想を変えていかなければいけないと思います。三田市や近隣の市も方向を見直していくと共に、一番大事なことはいかに軟着陸をするかということで、自治体の手腕が問われるのではないかと思います。今まさにどのように方向転換していくのかという時期にあると思います。これについては、市として市長として、強く責任をもってやらせていただきたいと思っています。</p> <p>次にふれあいプールですが、最初の計画を立てた時は廃止としていましたが、条件をもう一度精査した中で、一定の条件は付けておりますが、当分は継続して、より多くの方に利用していただきたいと思っております。</p> <p>それから、あきらめムードがあるということですが、財政上の問題だけで公共施設の問題を考えていくのではなく、未来の子供たちのためにも考えていきたいと思っています。間違いなく人口が減っていく中で、どの施設を大事に使っていくか、もしくは市が活用できなくても、地域イニシアチブで地域の方々に提案を頂いて、地域で管理するなどの形を探っていきたいと考えています。公民館や学校の空き教室などを上手く使って地域が活性化している例もありますので、市民の方が、地域の財産として積極的に維持管理に関わっていただく、それがこれからの時代じゃないかと思えます。</p> <p>青少年育成センターは、非常に立地が良いです。廃止・売却と考えておりますが、底地については安易に民間に売却というのはどうかと思っております。活性化になるような、賑わいが生まれるようになることが望ましいと思っています。できれば地域の方々に提案をしていただいて、市として検討出来るようになれば理想かと思えます。また、周辺の歴史のある建物は大事にしていきたいと思っています。</p> <p>市民センターの話の中で避難所の話が出ましたが、先日の豪雨の時に高齢者の方が体育館や教室を利用された時に、床が冷たいからと場所を移られたことがありました。これは全国的にもこれから検討されると思います。三田市としても避難生活が長くなる際に、高齢者や障害をお持ちの方がいかに避難生活を快適にできるかの工</p>

夫がいると思います。全面的に改修することはできませんが、できる工夫を検討していきます。

公共施設を維持管理していくうえで、財政面が深く関わってきます。未来の子ども達の為に残して大事に使っていく、そのための資金は今のところゼロです。これから色々な施策の中で見直しをしながら、来年度からは少しでもその為の費用を残していきたいと思っています。また災害になった時など緊急時の費用の為にも、国が出してくれる分もありますが、少しでも市として災害復旧の当面の費用として備えが必要だと思います。全体の財政計画を、市民の方の意見をお聞きしながら、立てさせていただきたいと思っています。

公共施設については、市民の皆さんのご意見をお伺いしながら12月には一定の方向をまとめさせていただいて、議会と協議させていただきます。8月からは、教育委員会で学校の再編にも入っていきます。最終的に市として、方向性を出す時期も迫ってきております。どこの自治体も悩ましい時期ですが、目指すところは、大きく方向が変わっていく中でいかに軟着陸をしていくか。その先には、人口減少や少子高齢化があっても、魅力のある三田になっている。その為の軟着陸にしたいと思っていますので、今後ともいろいろな機会にご意見をいただければと思います。